



第19回 朝日レディーステニス全国決勝大会
1997年11月18～21日 朝日生命本社 & 朝日生命久我山スポーツセンター



第19回朝日レディーステニストーナメント秋田県予選大会

9月10日(水)・11日(木) 秋田県営向浜テニスコート 参加組数 50ペア

優勝 鳥羽 昌代・信田 美喜子
準優勝 三浦 由美子・石垣 祐子
3位 渡邊 ミドリ・高井 眞理

宣誓



斉藤・加賀谷ペア

No.1チーム

全国大会開会式で選手宣誓をした。心臓が破裂するんじゃないか、ドキドキした。無事言い終えてほっとしたらおなかがすいた。

(信田)

No.2チーム

いつもの自分たちのプレーを！という思いで臨んだ今回の大会でした。前向きのゲームができ、一勝できた事は、これからの大きな足がかりになります。

(三浦)

No.3チーム

相手は、ベスト8まで残った岡山。ボールは全然早くない。フォームもいかにもオバサンだ。だけど、だけど、丁寧に返球して急がない。チャンスボールは確実にアレーに落として、しっかりポイントを取る。秋田では対戦した事のないタイプだった。外に出て、いろいろなスタイル、様々な球質の人達と戦うことの重要さを痛感させられた全国大会だった。

(渡邊)



全国大会 11月19日(水) 久我山コート
1回戦 秋田1-2岡山

監督 白瀬 順子

岡山県と対戦し、1-2で惜しくも負けてしまいましたが、選手の皆さんはとても良く頑張りました。技術的には決して劣っていませんが、精神力が少し欠けているように思いました。一回戦どころかベスト8にまで入る力は持っています。前進！ファイト！努力！